

私学の学費も無償に！ すべての私学が発展出来る私学助成を！  
誰もが私学に通える私学助成を！

## 第2号

2022年8月22日(月)

発行:神奈川私学職員組合連合  
横浜市中区桜木町3-9横浜平和と労働会館

<http://www.k-sikyoren.or.jp>

TEL 045-212-5571 FAX 045-212-5575

# 神奈川私教連

22 速報

## 7月26日 夏の私学振興課要請 「一言ハガキ」2006名分を提出

7月26日・火曜日、17時から「ぴおシティ」で行われた夏の私学振興課要請には、私学振興課から課長他2名の出席を得て、父母・教職員など21名の参加で県への要請を行いました。

要請では、「下の子ども私学に行きたいというが、わずかに所得制限を超えていて学費補助の対象とならず、公立に行かせざるを得ない」、「多子加算制度が実現したこと

はよかったが、対象が私立高校生の1%だけとは、あまりに枠が狭すぎる」等の切実な声がよせられました。また、「経常費助成を県も国基準に近づける努力をすすめる、としていたのに、今年度は逆に格差が開いた」ことが指摘されると、課長は「これは公務員賃金が引き下げられた影響が大きい」と述べ、「標準的運営費方式の見直しを」との声には「それはかえって切り下げになる可能性もある」としました。さらに、「学費補助と経常費助成は別建ての予算ではないか」と問うと「新たな制度を作る時は別だが、私学関係の予算としては全体の枠で考えざるを得ない。新たな予算を獲得することは大変に難しい」としました。参加者からは「神奈川の教育予算は少なすぎる。公立の少人数学級にしても先取りしない4府県のうちのひとつだ。もっと教育と子どもたちの未来のために予算を使ってほしい」との声が上がりました。

最後に「一言ハガキ」の提出セレモニーが行われ、後日、2006名分の一言ハガキを県に提出しました。



## 三輪先生「教育無償化の人類史的展望」を語る～かながわ教育署名スタート集会～

「海の日」連休の最終日にあたる7月18日、石川町・労働プラザで「かながわ教育署名スタート集会」が行われました。集会



には、公立義務制・県立高校・障害児学校・私学の教職員、藤沢・鎌倉地域の市民、新婦人など、神奈川の教育条件の改善を求める各団体から38名が参加しました。この日の記念講演の中で、三輪定宣先生は「『教育無償化』は、人類の歴史的な歩みを振り返ると、人間にとっての教育本来のあり方である」と歴史を振り返りながら語られ、憲法と国際人権規約にねざして今こそ前進をすすめよう、と呼びかけられました。

終了後、私学の参加者は桜木町駅前私学助成署名に取り組み、30分と短時間で家族連れなどから43名の署名が寄せられました。

## 第52回信州さらしな全私研 長野・上山田温泉で開催

3年ぶりの実地での開催となる第52回信州さらしな全私研が7月30日から8月1日まで、長野・上山田温泉で行われました。全私研には現地約900名、一部分科会のオンラインを合わせて約1000名、神奈川からは68名が参加しました。関東ブロックでは、特に現地長野が組合員数をしのぐほどの参加者を組織し、実務面でも大会の成功を支えました。全私研での学びと交流で得た力を秋からの教育実践や闘いに役立てていきましょう。

## 私学助成署名 7月から取り組み始まる 秋の臨時大会は9月10日

署名用紙が7月に完成し、夏休み前から取り組みが始まりました。秋に向けて各学園から積極的な署名用紙の申し込みをお願いします。

また、9月10日には神奈川私教連・秋の臨時大会を横浜の「かながわ県民センター」にてオンライン併用で開催します。詳細は、別紙にてお送りしますが、皆様の参加をよろしくをお願いします。